

Weekly Reports 2023-2024



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



2023-24年度 RI会長:ゴートン R. マツキナリ/地区ガバナー:安行 英文
加古川ロータリークラブ会長:釜谷 和明 / 幹事:吉田 太郎
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和6年1月16日(火) 晴 No. 25



▲釜谷会長挨拶



▲クラブ協議会/吉田幹事

会長の時間

会長 釜谷 和明

皆さんこんにちは。

松の内も終わり、これまで中止や縮小になっていた 年賀交歓会等の新春行事の完全復活で多忙な毎日をお過ごしのことと思います。寒さも厳しくなっておりますので、お身体には十分ご留意下さい。

さて、明日1月17日はあの阪神淡路大震災の発生日から29年が経ちます。今年には1月1日の能登半島地震が発生しましたので、皆様も今まで以上に考える事が多いのではないのでしょうか。昨日、加古川青年会議所の新年祝賀会に出席させて頂きましたが、29年前、JCメンバーであった私は同じ様に新年祝賀会の司会進行を行った二日後の地震発生でした。被災者でもあるメンバーもいましたが、余震の続く中緊急総会に沢山のメンバーが集まりました。そして市長と協議し、改装中であった市民会館前を拠点に、RC、LC等他団体の協力を仰ぎながらの活動が開始されました。専門職の方は業界団体を通して活動され、その他の方々が「何か出来る事はないか」と集まってこられました。救援物資の受付、仕分け、配送が中心でしたが、夜中にブルーシートに包まれた荷台の軽トラが「斎場はここですか?」と聞きに来られた対応や、当時のグリーンピア三木での救援物資収集所の自転車が大量に運び出された対応等、様々な事がありましたが、若者の動き、人のやさしさを実感しながら活動していたのを思い出します。

我々の経験した復興は本当に時間がかかりました。この度はそれ以上に時間を要すると思います。地区からも災害支援の協力依頼もきております。業界団体や、他団体での支援活動もすでに行っておられる会員もいらっしゃると思います。皆様には、支援依頼の情報をお伝えしていきますが、会員の皆様が情報収集された中で、加古川RCとしての支援のご提案があれば教えて頂ければと思います。宜しくお願い致します。

今月は、職業奉仕月間です。ロータリークラブの目的に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会の奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。」とあります。【高潔（こうけつ）とは人柄が立派で利欲の為に心を動かさないこと】メンバー各自の職業を通じ社会貢献することを職業奉仕と呼び、その高い倫理感、高潔さを得るために、言行を「4つのテスト」に照らし合わせて行おうとするものであり、行動規範としています。

そして「超我の奉仕」を実践すること、「サービス第一、自己第二」、つまり「利他の心」で、「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」と言われています。「最善のサービスをすれば、結果として最大の利益が得られる」この2つのモットーを掲げ行動するのが、ロータリアンです。

非常に崇高な考えですが、我々の所属する RC がその様な考えであること、それを忘れず日々行動していければと思います。

今日の例会ですが、7月から12月までの上半期報告を戴くクラブ協議会となっております。各委員長様には、発表方よろしくお願ひします。

以上で「会長の時間」とさせていただきます。

幹事報告

1) ☆他クラブニュース

例会変更のお知らせ

高砂青松RC

◇2月7日(水)→2月10日(土) 午後3時～

東播第2グループ I.M.

於;加古川プラザホテル

◇2月21日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]

加古川中央 RC

◇2月8日(木)→2月10日(土) 午後3時～

東播第2グループ I.M.

於;加古川プラザホテル

◇3月28日(木)→3月30日(土)地区補助金

(奉仕プロジェクト)

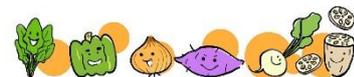
於;加古川商工会議所

展示ホール

2) BOX に加古川はぐるま福祉会より、「会報 はぐるま」、「ハイライトよねやま」を入れております。会報 はぐるまの3ページに(株)前川建設様の記事が掲載されておりますのでご覧下さい。

3) 本日例会終了後、4階特別会議室に於いて、70周年実行委員会 第3回正副部会長会議を開催します。

ニコニコ



- | | | | |
|---|---|---|------------------------------|
| 省 | 略 | ☺ | 本日はクラブ協議会です。
よろしくお願ひ致します。 |
| 省 | 略 | ☺ | 本日のクラブ協議会よろしくお願ひいたします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 設備投資のおかげで、加古川GC初夢杯優勝できました! |
| 省 | 略 | ☺ | 欠席ばかりで申し訳有りません。 |
| 省 | 略 | ☺ | 家族例会の写真ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | テーブルの花いただきます。 |

以上6件 ¥10,000-
本年度累計¥1,144,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 73 名 出席 44 名 出席免除 11 名 欠席 18 名
- ☆ 欠 席 者 省略

- ☆ 前 々 週 会員数 73 名 出席 51 名 出席免除 12 名 欠席 10 名

親睦活動委員会

例会場当番

1月23日(火) 桑田圭、金田

1月30日(火) 藤村、河合



プログラム委員会

本日1月16日(火)	1月23日(火)	1月30日(火)	2月6日(火)
クラブ協議会 (前半期の報告)	優良職業人表彰 職業奉仕委員会担当	ゲスト卓話 「危機管理について」 加古川プロバスクラブ 会長 山本 元祥氏	卓話 岡田担当

アーチック会長エレクトが「ロータリーのマジック」を称える

RI 会長エレクトが 2024-25 年度会長テーマを発表

文：Etelka Lehoczky

国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25 年度会長テーマ「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。1月8日、ロータリー国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです」

マクマーリー・ロータリークラブ(米国ペンシルバニア州)の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。

「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に

入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」

平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。

ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点を置く平和センターは、現在140カ国以上で活躍する約1,800人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるバチェシエヒシュ大学に設置される最新の平和センターでは、2025年に第1期フェローが学業を開始します。

「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20年以上前に始めました」とアーチック氏。「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

アーチック氏はさらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。

「地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」

継続と変化のバランス

また、継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。

「この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」とアーチック氏。「私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」

さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るよう、ガバナーに求めました。

「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」

アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則を取り入れることであると述べました。

「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえば、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏。「DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」